

HIV感染症の患者さんへ 治験ご協力をお願い

現在当院では、**治療歴が多いHIV-1感染症の患者さん**を対象とした**治験**を実施しております。

- 治療効果が乏しい抗HIV薬を8週間以上前から服用している方
- スクリーニング時にHIV-1 RNA量が400 copies/mL以上の方
- 抗HIV薬の4つの主な薬剤クラス（NRTI、NNRTI、PI、INSTI）のうち3クラス以上で各2剤以上の耐性がある方
- 組み合わせ可能な薬の中で抑制効果が期待できる抗HIV薬が2つ以下の方

※この他にもご協力いただける基準があります。ご来院時の検査結果により参加できない場合がありますのでご了承ください。

治験薬

錠剤：1日1または2錠をスケジュールに従って内服
↓（錠剤での治療期間終了後）
注射：6カ月に1回、皮下注射

期間

少なくとも54週間
希望する方は治験が終了するまで継続可能

入院

1泊2日の入院が最大2回必要です
治験期間中は決まったスケジュール通りにご来院いただきます。



『治験』とは？

新しい薬が世の中に出てくるためには、まず最初に、『くすり』になる可能性のある物質について試験管内での作用を調べたり、動物での効果や安全性などを調べた後、健康な人や一部の患者さんの協力を得て、人の病気の治療に役立つかどうかを確かめる必要があります。

このように、健康な人や患者さんに実際に使っていただいて、効果と安全性を確かめる試験を『治験』といい、治験で使われる薬を『治験薬』といいます。

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター
治験責任医師 岡 慎一

この治験に関するお問い合わせ先

治験管理室

電話番号：03-3202-7181（代表）

「ACCの治験について」とお伝えください。

受付時間：月～金9:00～17:00(祝日を除く)